

岡山 くりん

No.70
2025.1



一般社団法人

岡山県産業資源循環協会

循環型社会を支え、未来を創る



Fukui Clean



市内ラッピングバス

住みよい環境づくりに
奉仕する

あなたの街の
リサイクルリングハブ

持続可能な社会を構築するため、環境と人に優しいきめ細やかなサービスを提供し、新しいことに挑戦し続ける企業を目指しております。



代表取締役 上杉 有梨



Fukui Clean

株式会社 フクイクリーン

- 太陽光パネルリサイクル ● 金属処理・非鉄金属・製鋼原料
- 特管物収集運搬 ● 解体・土木・建築一式総合建設業
- 資源リサイクル ● 産業廃棄物収集運搬 ● 産業廃棄物中間処理(破砕)



本社 〒707-0024 岡山県美作市榑原下145
TEL0868-72-1119 FAX0868-73-0455
大阪営業所 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田2-2-2ヒルトンプラザエイト19階
TEL06-6133-5750
中間処理施設 〒707-0134 岡山県美作市矢田1430-1
TEL0868-77-1244 FAX 兼
金属処理工場 〒708-1313 岡山県勝田郡奈義町中島東838
TEL0868-36-3387 FAX0868-36-0554

◆年頭あいさつ◆

年頭挨拶 一般社団法人岡山県産業資源循環協会 会長 大塚 雅司	2
本県の豊かな環境を次世代に 岡山県環境文化部 部長 大熊 重行	3
自然環境と調和した豊かな暮らしを将来世代に引き継ぐことを目指して 岡山市環境局長 見平 孝行	4
循環型社会の形成に向けて 倉敷市環境リサイクル局 局長 外村 博之	5
新年のご挨拶 公益社団法人全国産業資源循環連合会 会長 永井 良一	6

◆行政NEWS◆

産廃の違法運搬を食い止める！～抜き打ち検査を実施しています～	7
大気汚染防止法による石綿飛散防止のための規制強化	8
中国四国地方環境事務所からのお知らせ	9

◆特集◆

第2回廃材アートコンテスト	10
---------------	----

◆事業報告◆

全国女性部会のつどい、産業廃棄物と環境を考える全国大会に参加して	16
宿泊視察研修会レポート	17
令和6年度 日帰り視察研修会	19
令和6年度災害廃棄物研修会が開催される	21
倉敷市での災害廃棄物仮置場設置訓練に倉敷支部・倉敷南支部が参加！	22

◆支部ニュース◆

岡山西支部・岡山中央支部合同貝殻山クリーン作戦	23
倉敷支部 第28回（令和6年度）倉敷地域環境クリーン作戦	24
倉敷南支部 令和6年度 環境クリーン作戦	25
井笠支部 井笠支部クリーン作戦	26
備北支部 新見地域環境クリーン作戦	27
津山支部 第28回津山支部環境クリーン作戦	28

◆青年部会のページ◆

青年部会勉強会を開催する。	30
---------------	----

◆委員会報告◆

労働安全衛生委員会報告 全国産業安全衛生大会2024in広島の概要	31
災害廃棄物委員会 災害廃棄物連絡会議の開催	33

◆会員紹介コーナー◆

津山支部 株式会社 新岡山工業	34
-----------------	----

◆事務局だより◆

新入会員のご紹介	35
岡山中央支部・岡山西支部合同親睦ゴルフコンペの結果報告	35
表紙写真ガイド／編集後記	36



*右下のマークは、産業廃棄物適正処理のマスコット「てき丸君」です。

年頭挨拶

一般社団法人岡山県産業資源循環協会 会長 大塚 雅司



新年あけましておめでとうございます。

旧年中は格別のご厚情を賜り誠にありがとうございました。

新型コロナの影響で大きく落ち込んだ日本の景気はプラス成長になってきていますが、コロナ前の水準に回復するにはまだまだ時間がかかるといわれています。コスト高による建設工事の先送りや人手不足による工事の遅れ、また人材の確保や物価上昇を受けた従業員生活への配慮等から賃上げの動きもみられ、中小企業にとっては厳しい状況が続いています。

このような情勢の中、協会事業はコロナ前の事業ベースに戻り、去年は講習研修事業やマニフェスト事業、環境学習や災害廃棄物対策等に取り組みました。

災害廃棄物対策では、平成30年豪雨災害の経験を踏まえ、協会の災害廃棄物処理支援体制の強化を図っており、去年は県下の全市町村と「県・市町村・協会による連絡会議」を開催し、市町村の仮置場候補地の下見や仮置場計画の検討を行いました。

また、一昨年設立30周年事業として実施した「廃材アートコンテスト」を去年も継続実施し、岡山県下の小学生から廃材を素材としたアート作品を募集したところ、80名もの応募があり優秀な作品20点を表彰しました。

また、去年は部会設置規程を見直し、会員の自主参加による運用を始め、収集運搬部会25名、処分リサイクル部会25名、女性部会12名でスタートを切りました。いずれの部会も第1回目の会合を開き、廃棄物処理業を取り巻く問題点や課題を出し合い、今後の部会活動の方向性について意見交換しましたが、これからの部会活動に大いに期待しています。

令和7年は巳年。これまでの努力や準備が実を結び始める年といわれています。捨てる時代から活かす時代に、限りある資源を子供達につなぐために、当協会は社会の課題にチャレンジし続けたいと思いますので、引き続きご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

おわりに、今年が皆様にとりまして、健やかな一年となりますようお祈り申し上げまして、新年の挨拶とさせていただきます。今年もよろしくお願い申し上げます。

本県の豊かな環境を次世代に

岡山県環境文化部 部長 大熊 重行



明けましておめでとうございます。

一般社団法人岡山県産業資源循環協会会員の皆様におかれましては、平素から本県の環境文化行政の推進に多大な御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

貴協会におかれましては、設立から30年以上の長年にわたり、産業廃棄物の適正処理、リサイクルの推進に係る各種普及啓発、各地域における不法投棄物撤去事業など、幅広い環境保全活動に熱心に取り組まれてきたことに深く敬意を表します。

また、昨年度から小学生を対象とした廃材アートコンテストを開催されており、このような本県の将来を担う次世代にも目を向けた取組がより一層推進されますことを期待しております。

能登半島で昨年1月に地震、9月には豪雨が発生するなど、全国で災害が頻発しておりますが、平成30年7月豪雨災害の経験を踏まえた災害対応力の強化におきましても、貴協会に多大なる御協力を賜っており、今年度も昨年度に引き続き、市町村が災害発生時に迅速かつ円滑に仮置場を設置し対応できるよう、玉野市等において開催した災害廃棄物仮置場計画の検討会議等にも御尽力いただいているところであり、あらためてお礼申し上げます。

さて、本県では、現在、県政推進の羅針盤である「第4次晴れの国おかやま生き生きプラン」の策定作業と並行して、環境の保全に関する総合的かつ長期的な施策の大綱である「岡山県環境基本計画(エコビジョン2040)」の改訂作業を進めているところであり、食品ロスの削減、海ごみによる海洋汚染等の新たな課題にも対応し、本県の豊かな環境を次世代に引き継ぎ、持続的な発展につながる施策に全力で取り組んでまいります。

豊富な経験や人材を有する貴協会と会員の皆様方には、産業廃棄物の適正処理はもとより、さらなる循環型社会の形成の推進に向け、3Rの促進や県民意識の醸成等について、より一層の御理解と御協力を賜りますよう、引き続きよろしく願い申し上げます。

終わりに、皆様方の益々の御発展を心から祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

自然環境と調和した豊かな暮らしを 将来世代に引き継ぐことを目指して

岡山市環境局長 見平 孝行



令和7年の新春を迎えるにあたり、謹んでお慶び申し上げます。

一般社団法人岡山県産業資源循環協会並びに会員の皆様におかれましては、平成5年の設立以来、長年にわたり、環境クリーン作戦や廃棄物の適正処理の推進に励まれ、本市の生活環境の保全や循環型社会の形成に多大な貢献を賜り、心より感謝を申し上げます。

また、環境学習親子エコツアーの開催やキッズ廃材アートコンテストを通じて「限りある資源を子どもたちにつなぐために。」を掲げる貴協会の持続可能な社会の実現に向けた取り組みに、深く敬意を表する次第です。

さて、本市では、「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」の施行を受けて、令和6年3月から家庭から排出されるプラスチックの分別回収を実施し、資源の再製品化に取り組んでおります。分別回収を開始して以来、適切にプラスチックの回収が行われおり、再資源化やごみの減量化に成果が表れているところです。引き続き適切にプラスチックの分別が行われるよう、継続的に市民への周知啓発を行い、循環型社会形成の向上が図れるよう取り組んでまいります。

また、平成30年7月豪雨における災害廃棄物処理対応の教訓、さらには近年、大雨などの異常気象による水害が全国各地で発生している背景を踏まえ、令和6年に岡山市災害廃棄物処理計画の見直しを行い、本市での災害廃棄物処理の具体的な業務内容と手順をまとめた岡山市災害廃棄物処理対策業務マニュアルを定めたとあります。

そのうえで、日頃から大規模災害などを想定した訓練に臨んでおり、本市で災害が発生したときには、災害廃棄物を迅速かつ適正に処理し、市民の生活環境の保全と円滑な復旧、復興の推進が図れるよう、災害廃棄物に関する知識の向上に努めているところであります。

近年「地球沸騰化」と言われるほど、地球温暖化が進んでおり、異常気象による豪雨災害や農作物、生態系への影響が社会的な問題となっており、地球温暖化の原因とされる二酸化炭素などの温室効果ガス排出の削減が急務となっております。

本市では、今後も「豊かな自然と調和した持続可能なまち岡山」の実現に向け、市民、貴協会並びに会員皆様と協働し、環境問題に取り組めるよう、継続的な情報を発信することや2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指し、引き続き循環型社会の形成や脱炭素社会の推進に取り組んでまいります。

貴協会並びに会員の皆様におかれましては、本市の廃棄物の適正処理、生活環境の保全及び循環型社会の形成に関しまして、引き続きお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

また、低濃度PCB廃棄物におきましては、令和9年3月31日の処理期限までに適切な処理が実施できるよう、ご支援並びにご協力をお願い申し上げます。

最後になりますが、貴協会並びに会員の皆様の益々のご活躍を心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

循環型社会の形成に向けて

倉敷市環境リサイクル局 局長 外村 博之



令和7年の新春を迎えるにあたり、謹んでお慶びを申し上げます。

一般社団法人岡山県産業資源循環協会並びに会員の皆様におかれましては、平素から倉敷市の産業廃棄物行政に対し、格別なる御理解、御協力を賜り厚くお礼申し上げます。また、産業廃棄物の適正処理やリサイクルの推進はもとより、業界関係者の育成や産業廃棄物に関する知識の普及・啓発などの様々

な活動を通じて循環型社会の形成の推進に御尽力されておられ、心から敬意を表します。

さて、昨年1月には石川県能登地方を震源とした能登半島地震が発生するなど、近年、地震や豪雨等の自然災害が全国各地で発生しています。倉敷市も環境省からの要請で被災地へ赴き、災害廃棄物の仮置き場設置等の支援を行いましたが、その被災地では、石川県産業資源循環協会を中心に、市民生活の復興に欠かせない災害廃棄物の収集運搬や処分が円滑に進められていました。平成30年7月豪雨災害の際、皆様方に御尽力をいただいたように、大規模災害時には専門的技術や知識を有する皆様方のお力添えが必要であることを改めて実感した一方で、行政による気候変動を含めた環境面への取り組みも喫緊の課題であると再認識したところであります。

これらの課題は、令和6年8月2日に閣議決定された第五次循環型社会形成推進基本計画においても取り上げられており、気候変動・生物多様性の保全・環境汚染の防止等の環境面の課題と、地方創生や質の高い暮らしの実現、産業競争力の強化や経済安全保障といった社会面の課題を解決していくために、国家戦略として循環経済への移行に取り組むべきであるとされました。この計画の中では目指すべき方向性として、多種多様な地域の循環システムの構築と地方創生の実現、資源循環・廃棄物管理基盤の強靱化と着実な適正処理・環境再生の実行、などの重点分野が掲げられており、循環型社会の形成に向けて多様な主体が互いに連携・協働して取り組む必要があるとされています。

貴協会がこれまでに培ってこられた技術や人材は、資源循環・廃棄物管理に係る課題解決や適正処理推進のために、また地域住民との連携や会員同士のつながりは、多種多様な地域の循環システム構築や地方創生実現のために、不可欠なものであると考えています。倉敷市としましても、貴協会が掲げる“限りある資源を子供達につなぐために”技術開発、人材育成、地域活動への支援など必要な施策に積極的に取り組んでまいりますので、今後もより一層の御理解を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴協会の益々の御発展と会員の皆様方の御健勝、並びに御多幸を心より祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

公益社団法人全国産業資源循環連合会 会長 永井 良一



明けましておめでとうございます。

旧年中は、当連合会の諸事業に対し、皆様の多大なるご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、1月の能登半島地震、その後の全国的な豪雨災害などの自然災害の発生によって、能登を含む広範な地域に甚大な被害がもたらされました。被災された皆様に、あらためて衷心よりお見舞い申し上げます。

さて、これまでの廃棄物・リサイクル対策の経過を概観しますと、1970年に廃棄物処理法が制定された当時は、生活環境と公衆衛生の向上を図るため、産業廃棄物の適正処理の確保が大きな課題でした。その後、適正処理の重要性に加え、1990年代以降は循環型社会の形成、さらに近時は循環経済（サーキュラーエコノミー）と脱炭素社会の構築という新たな課題が生まれております。

これらを踏まえ、2023年4月から中央環境審議会循環型社会部会にて、循環型社会形成推進基本計画の5年ごとの見直しが行われ、2024年8月に「第五次循環型社会形成推進基本計画」が閣議決定されました。

この中で重要な点として、「脱炭素」と「動静脈連携」があげられます。国におかれては、2023年7月から静脈産業の脱炭素型資源循環システムの構築に向けた検討が進められ、「資源循環の促進のための再資源化事業等の高度化に関する法律」が2024年5月に制定されました。

これらの国の施策に対応すべく、当連合会では「処理の受け手から、資源・エネルギーの創（つく）り手へ」をスローガンに掲げ、脱炭素と循環経済が統合された新たな社会づくりに貢献する資源循環産業へ発展していきたいと考えています。

当連合会は、本年7月に法人化40周年という大きな節目を迎えます。本年は廃棄物処理法や建設リサイクル推進計画2020など、産業廃棄物処理業界と関係の深い法律の評価・検討が予定されています。このほか、人材の育成・確保や労働災害防止への体制強化、多発化している自然災害に伴う災害廃棄物処理などのさまざまな課題への対応を図り、「環境を守り、産業を支える」資源循環産業として飛躍するための基盤づくりに取り組んでまいります。

皆様の尚一層のご指導、ご鞭撻を頂戴できれば幸に存じます。

最後に本年が皆様にとりまして、健やかな一年となりますようにお祈り致しまして、新年の挨拶とさせていただきます。

岡山県からのお知らせ

産廃の違法運搬を食い止める!

～抜き打ち検査を実施しています～

1 取組の概要

岡山県では、産業廃棄物の適正処理を確保する方策の一つとして、県外からの産業廃棄物の搬入に係る事前協議制度を設けています。

この制度により、県外から搬入される産業廃棄物の適正処理に一定の効果が上がっていると思っておりますが、その一方で事前協議を経ることなく県外から産業廃棄物が搬入されるケースも散見されます。

こうした背景から、平成15年度から年に数回、警察の協力を得て主要幹線道路において産業廃棄物を運搬している車両の抜き打ち検査を実施し、廃棄物の種類・性状、排出事業者、運搬先等を確認するとともに、マニフェストとの突合、必要書類の点検等を行っています。

2 路上検査の結果

令和6年は路上検査を2回実施しており、第1回は岡山県単独で、第2回は岡山市及び倉敷市と時期を統一して実施しました。

(1) 第1回(6月6日～6月11日に実施)

	岡山県
実施箇所数	3箇所
停車指示車両数	42台
うち産廃関係車両数	14台
うち指導台数	5台

(2) 第2回(10月16日～10月30日に岡山市及び倉敷市と時期を統一して実施)

	岡山県	岡山市	倉敷市	合計
実施箇所数	2箇所 ^(※)	1箇所	1箇所	4箇所
停車指示車両数	23台	11台	12台	46台
うち産廃関係車両数	9台	8台	2台	19台
うち指導台数	1台	4台	1台	6台

※ 3箇所での実施を予定していたが、このうち1箇所は降雨により中止

3 違反事項と対策

- 過去実施分も含め、多い指導事項は、**車両への表示不備、有効な許可証の写しの不携帯、マニフェストの不携帯や記載不備**であり、すぐに改善できる内容ですので、この機会に確認をお願いします。
- 産業廃棄物を産業廃棄物でないと思いきみ運搬するケース**も散見されますが、契約締結時などの機会を捉えて排出事業者から排出工程等を聞き取り、所管行政庁に確認すれば未然に防げる場合がありますので、こうした確認を徹底していただき法令違反となるような事態を回避してください。

岡山県からのお知らせ

大気汚染防止法による石綿飛散防止のための規制強化

石綿含有建材の事前調査は有資格者が行う必要があります！

建築物等の解体等工事における石綿（アスベスト）の飛散を防止するため、令和2年に大気汚染防止法が一部改正され、令和3年4月から順次、県知事等への事前調査結果報告の義務化等の規制が開始されています。

この改正により、令和5年10月からは「建築物」に係る事前調査の実施者が有資格者に限定されており、**令和8年1月1日からは一部の「工作物」に係る事前調査の実施者も有資格者に限定されます。**

→大気汚染防止法の改正について詳しくは、岡山県ホームページをご覧ください
(URL) <https://www.pref.okayama.jp/page/699479.html>



事前調査の実施者に係る規制の概要

○令和5年10月1日施行

建築物の解体等工事(解体・改造・補修作業の全てが対象)を行う場合は、以下の要件①から④のいずれかに該当する者が事前調査を行う必要があります。

【事前調査を行える者】

- 要件①: **特定建築物石綿含有建材調査者**
- 要件②: **一般建築物石綿含有建材調査者**
- 要件③: **一戸建て等石綿含有建材調査者**(一戸建てや共同住宅の住戸の内部に限り調査可)
- 要件④: 令和5年9月30日以前に(一社)日本アスベスト調査診断協会に登録されている者

○令和8年1月1日施行

工作物の解体等工事(解体・改造・補修作業の全てが対象)を行う場合は、以下の要件に該当する者が事前調査を行う必要があります。

【事前調査を行える者】

- 特定工作物A** → 要件⑤: **工作物石綿事前調査者**
- 特定工作物B** → 要件①②④⑤のいずれかに該当する者
- 特定工作物以外の工作物※**

※特定工作物以外の工作物については塗料その他の石綿を含有するおそれのある建築材料の除去を伴うものに限る

特定工作物 A	特定工作物 B
<ul style="list-style-type: none"> ○反応槽 ○加熱炉 ○ボイラー及び圧力容器 ○配管設備(建築物に設ける給水設備、排水設備、換気設備、暖房設備、冷房設備、排煙設備等の建築設備を除く。) ○焼却設備 ○貯蔵設備(穀物を貯蔵するための設備を除く。) ○発電設備(太陽光発電設備及び風力発電設備を除く。) ○変電設備 ○配電設備 ○送電設備(ケーブルを含む。) 	<ul style="list-style-type: none"> ○煙突(建築物に設ける排煙設備等の建築設備を除く。) ○トンネルの天井板 ○プラットホームの上家 ○遮音壁 ○軽量盛土保護パネル ○鉄道の駅の地下式構造部分の壁及び天井板 ○観光用エレベーターの昇降路の囲い(建築物であるものを除く。)

○資格取得に係る講習会情報

厚生労働省：石綿総合情報ポータルサイト
(URL) <https://www.ishiwata.mhlw.go.jp/course/>



お問い合わせ

- 岡山県 環境文化部 環境管理課 大気保全班 TEL：086-226-7302(直通) FAX：086-224-2147
- ※岡山市又は倉敷市の解体等工事については、各市役所環境担当課にお問い合わせください。



中国四国地方環境事務所からのお知らせ

環境省では第5次循環基本計画の指針に掲げる、循環型社会の形成に向けた循環経済への移行を進めるため、令和6年度補正予算及び令和7年度予算において資源循環に関わる事業者向けの補助メニューを用意しております。

【令和7年度予算(案) 4,280百万円(3,761百万円)】
 【令和6年度補正予算額 1,700百万円】

プラスチック資源・金属資源等のバリューチェーン脱炭素化のための高度化設備導入等促進事業

1. 事業目的

- ①プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律が令和4年4月に施行されたことを受け、自治体・企業によるプラスチック資源の回収量増加、また再生可能資源由来素材の需要拡大の受け皿を整備する。
- ②再エネの導入拡大に伴って排出が増加する再エネ関連製品(太陽光パネル、LIB等)や、金属資源及びベース素材等を確実にリサイクルする体制を確保し、脱炭素社会と循環経済への移行を推進する。

2. 事業内容

①省CO2型プラスチック資源循環設備への補助

- ・効率的・安定的なリサイクルのため、プラスチック資源循環の取組全体(メーカー・リテイラー・ユーザー・リサイクラー)を通してリサイクル設備等の導入を支援する。
- ・再生可能資源由来素材の製造設備の導入を支援する。
- ・プラスチック使用量削減に資するリユースに必要な設備の導入を支援する。
- ・複合素材のリサイクル設備の導入を支援する。
- ・紙おむつ等の複合素材のリサイクル設備の導入を支援する。



太陽光発電設備

②金属・再エネ関連製品・ベース素材等の省CO2型資源循環高度化設備への補助

- ・資源循環を促進するため、工程端材、いわゆる都市鉱山と呼ばれている有用金属を含む製品や再エネ関連製品及びベース素材の再資源化を行うリサイクル設備の導入を支援



金属破碎・選別設備

3. 事業スキーム

- 事業形態…間接補助事業(補助率 1 / 3, 1 / 2)
- 補助対象…民間事業者・団体等
- 実施期間…令和5年度～令和9年度

4. 事業イメージ



5. その他の補助メニュー

- 「再資源化事業等高度化推進事業」
- 「先進的な資源循環投資促進事業」
- 「太陽光パネル、小型家電等の循環資源利用高度化の促進」等

https://www.env.go.jp/guide/budget/r06/page_00002.html



お問い合わせ先：環境再生・資源循環局 総務課

- ①容器包装・プラスチック資源循環室 電話：03-5501-3153
- ②資源循環ビジネス推進室 電話：03-6205-4947

特集

第2回

キッズ

はい ざい

エコアート

アートコンテスト 表彰式・作品展示会



展 示 期 間

2024

12.17 - 12.21

9:00 ~ 17:00 (21日は15:00まで)

場所：岡山県天神山文化プラザ第1展示室

【表彰式】

日時：令和6年12月21日(土)

14:00 ~ 15:00 (受付13:00から)

場所：岡山県天神山文化プラザ第1展示室

岡山市北区天神町8-54

備考：駐車場は近くの有料駐車場をご利用ください。



主催 一般社団法人岡山県産業資源循環協会

協会設立30周年記念事業として昨年実施した「廃材アートコンテスト」を今年も引き続き実施しました。

- 募集対象** 岡山県内の小学生
- 募集期間** 令和6年9月1日～10月31日
- 応募作品** 80点
- 一次審査** 令和6年11月12日、写真による審査
- 二次審査** 令和6年12月4日、作品による審査
- 表彰作品** 最優秀賞1点、優秀賞3点、特別賞3点、入賞13点
- 作品展示** 令和6年12月17日～12月21日、岡山県天神山文化プラザ、表彰作品20点
- 表彰式** 令和6年12月21日、岡山県天神山文化プラザ、受賞関係者44名参加

今年の作品は昨年に比べてレベルの高いものが多く、小学校の授業の中や放課後児童クラブの活動の中で取り組んでくれたものもありました。いずれの作品も甲乙つけがたく、審査では大変苦労しました。

【最優秀賞】



作品名：木登りコアアラ
岡山市立南輝小学校4年生
荒井 珀さん

【優秀賞】



作品名：みんなの木
瀬戸内市立邑久小学校6年生
猪野日万莉さん



作品名：木の実大好きシマエナガちゃん
津山市立弥生小学校2年生
黒田真奈さん



作品名：龍
岡山市立南輝小学校3年生
片岡 鈴さん



【特別賞(そっくりde賞)】

作品名：生きた化石カブトガニ
 笠岡市立大島小学校3年生
 二階堂 樹さん



【特別賞(メルヘンde賞)】

作品名：こびとの靴と切株のお花畑
 倉敷市立第五福田小学校4年生
 秋山琴音さん



【特別賞(カラフルde賞)】

作品名：羽ばたけ！アゲハ蝶
 矢掛町立山田小学校1年生
 三好結菜さん

【入賞】

作品名：3本アームUFOキャッチャー 津山市立林田小学校6年生 芦田龍之介さん

作品名：どこでも走る車 総社市立山手小学校2年生 池田康史さん

作品名：戦い終えた海賊船 矢掛町立山田小学校5年生 井上倅希さん

作品名：貼り絵ウィンドウ&落ち葉ステンドグラス 矢掛町立矢掛小学校2年生 井上紗良さん



作品名：とらえろカマキリ！ミツバチを！ 浅口市立金光小学校4年生 大橋利斗さん

作品名：うめちゃんちのニワトリ 岡山市立南輝小学校5年生 加藤 華さん

作品名：コロコロじゃんけんぽん 倉敷市立琴浦南小学校1年生 喜田裕晟さん

作品名：舞い踊る獅子 岡山市立南輝小学校5年生 葛原希実さん



- 作品名：シークレットガチャ 津山市立西小学校4年生 坂本望愛さん
- 作品名：わたしのクローゼット 岡山市立灘崎小学校3年生 佐藤朱莉さん
- 作品名：アートなクジャク 岡山市立南輝小学校4年生 庄司桃杏さん
- 作品名：ギョロっとカメレオン 岡山市立南輝小学校1年生 高山陽樹さん
- 作品名：ペットボトルキャップのランプシェード 新見市立高尾小学校6年生 田中咲空さん



作品展示

岡山県天神山文化プラザで表彰作品展示会と表彰式を行いました。展示期間中、同施設では県内の高校や団体の作品展が開催されており、協会の廃材アート展示室にも300名を超える方々が立ち寄ってくれました。来場した大人や高校生からは「こんな事やっているとは知らなかった。」「小学生なのにすごいね♪」などの声が聞かれました。



表彰式

展示会の最終日に表彰式を開催しました。受賞関係者44名と協会スタッフ13名が展示会場に集まり、最優秀賞、優秀賞、特別賞、入賞の20名に大塚会長より表彰状と副賞を授与しました。

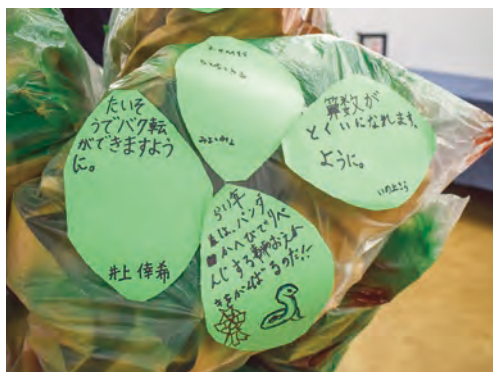




今年も展示会場に青年部会が大きな廃材アート作品を出展してくれました。来年の干支にちなんで「どりーむ ぱいそん(ニシキヘビ)」。とぐろを巻いている木に願い事を書いた葉っぱを付けてもらう作戦にしました。表彰式に参加した子供たちは思い思いに願いごとを書き木に張り付けて楽しい一時を過ごしました。



「どりーむ ぱいそん」
2025年は努力が報われる乙巳年
みんなで願い事を叶えましょう



みんなの願いごとが叶いますように☆彡

全国女性部会のつどいに参加して

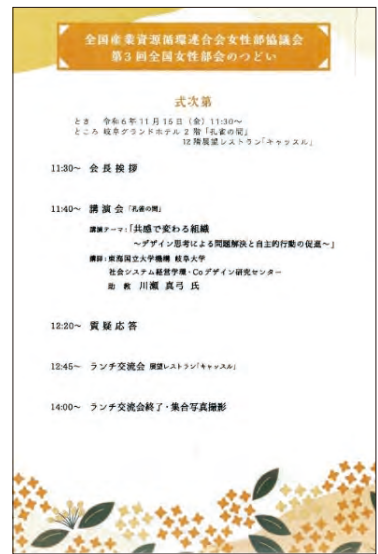
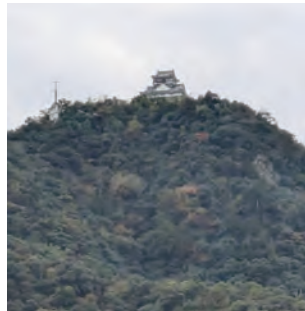
女性部会長 (有)和気環境サービス 松本 公子

令和6年11月15日、全国産業資源循環連合会女性部協議会の「第3回全国女性部会のつどい」が岐阜グランドホテル2階「孔雀の間」で開催されました。

二木玲子会長の挨拶から始まり、講演会では岐阜大学助教授 川瀬真由美様から「共感で変わる組織～デザイン思考による問題解決と自主的行動の促進～」というテーマでお話いただきました。

ランチ会(フランス料理のフルコース)では、全国のメンバーが、今後の活動に向けた意欲的な意見交換が行われました。

岡山県では、始めて女性部会が出来たので、東京方面、大阪方面の方々の紹介をして頂きました。これからも全国的に活躍している女性部会の方々と色々と情報交換をして頑張りたいと思います。



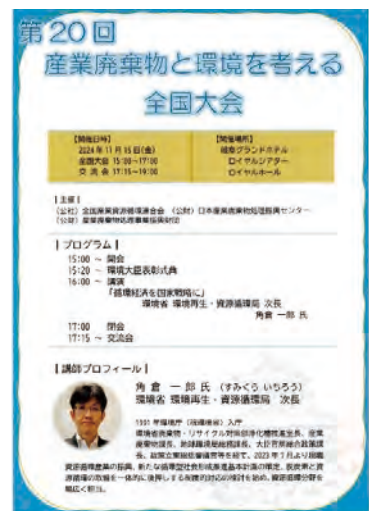
第20回産業廃棄物と環境を考える全国大会

令和6年11月15日、岐阜グランドホテルで「第20回産業廃棄物と環境を考える全国大会」が開催され、行政、事業者の方々も数多く参加されました。

環境大臣表彰式典では28名の方々が受賞され、講演会では「環境省における資源循環に向けた取り組みについて」の講演がありました。

交流会は、岐阜グランドホテル、ロイヤルホールで行われ、大塚会長をはじめ蔵本副会長、井上副会長、三好副会長、そして私(松本)が出席しました。全国各地から参集しており盛大に行われました。

来年は北海道で全国大会が予定されています。



宿泊視察研修会レポート

岡山西支部 岡山砒油株式会社 今村 芳弘

令和6年10月17日より19日の3日間、秋田、青森の視察研修会に参加しました。今回、視察先がDOWAグループ企業という縁も有り、また岡山から東北まで(岡山→羽田→青森までのフライト距離約1,400km)視察に行く機会は滅多に無く、絶好のチャンスだと思い志願しました。

青森空港へ降り立ち、東北の寒さを受け入れる準備で身支度をしていましたが、近年の異常気象の影響で岡山と差ほど気温変化も無く、安堵の思いでバスへ乗り込みました。

車窓からの風景は紅葉が疎らでしたが、津軽平野にそびえる岩木山(標高1,625m)は絶景でした。また、沿道の店舗へ目をやると小型ショベルローダーが常設、エアコン室外機は地面に設置されておらず、冬将軍の時期の厳しさをほんの少しですが知りえる事が出来ました。

初日は、現存する日本最北端の天守閣で、国の重要文化財の弘前公園を散策しました。弘前城天守閣は、100年ぶりの石垣修理の為、曳屋工事により移設されており威風堂々の趣は拝見出来ませんが、歴史的建造物と自然が調和する美しい景観を堪能できました。



翌日は、十和田湖にほど近い秋田県鹿角郡小坂町にあるDOWAグループ複合リサイクル施設を視察しました。創業1884年(明治17年)政府より小坂鉱山の払い下げを受け、溶鉱炉を用いた黒鉛の自溶製錬所にて操業開始。現在では銅・鉛の製錬所、有価金属約20種類の回収、また管理型最終処分場を有し、敷地面積は1,000ヘクタールと広大な土地を所有しているからこそ展開できる事業があると認識しました。敷地内には町道、民家、寺、墓地が調和しており、敷地境界の門扉が無いことに驚きました。また、夜勤中の巡視モニターへ不審者が映り、現場へ駆けつけると墓地へ向かうご老人だったというエピソードは地域密着の証だと感銘を受けました。

バスにて小坂製錬株式会社の保管施設・解体施設を見学。国内外より購入した使用済みPC、携帯電話の集荷量(フレコンバックの中には、ガラパゴス携帯がぎっしり)と処理量2,000t/月に圧倒されました。

株式会社日本ページエムでは、自動車使用済み触媒より白金族のプラチナ、パラジウム、ロジウムを回収する乾式製錬「ROSEプロセス」を間近で見学し、1,500℃の熱気を肌で感じる事が出来ました。



グリーンフィル小坂株式会社では、一般廃棄物、産業廃棄物共に受け入れ、管理型最終処分場として広大な面積を保有し、廃水処理施設も近年の線状降水帯等の豪雨対策に対応できるよう増設工事等も積極的に取り組まれており近隣住民等への配慮が伺えました。

エコシステム小坂株式会社では、自動車シュレッダーダストをはじめ産廃及び一廃の様々な廃棄物の焼却を行い、残渣から金属類を回収し資源化しています。焼却で発生した熱エネルギーはボイラーで蒸気として回収し小坂製錬の熱源や発電用として有効活用していました。

見学最後に、製錬された金・銀の延棒を各々持たせて貰い、一様に興奮しておりました。また、創業当時より使用されている建物の外壁には、藤田3兄弟の絆を表すしるしだと聞き、グループ社員として今一度襟を正すと共に、先輩方々の培ってきた歴史と情熱を次に繋ぐタスキ役として初心に戻る素晴らしい時間を過ごすことが出来ました。



最後に視察を受け入れていただいたDOWAグループの皆様、今回の見学に尽力いただきましたエコシステム山陽株式会社 代表取締役 山田様に感謝するとともに、大塚会長をはじめ参加会員各社、事務局のご協力により大変有意義な視察研修会になったことを心より感謝いたします。



令和6年度 日帰り視察研修会

日時 令和6年11月29日(金) 10:30~15:00
 視察先 ・(公財)岡山県環境保全事業団水島事業所(倉敷市水島川崎通1丁目18)
 ・(株)田中商会 玉島工場(倉敷市玉島乙島字新湊8264-11)
 破碎選別施設
 参加者 大塚会長以下22名

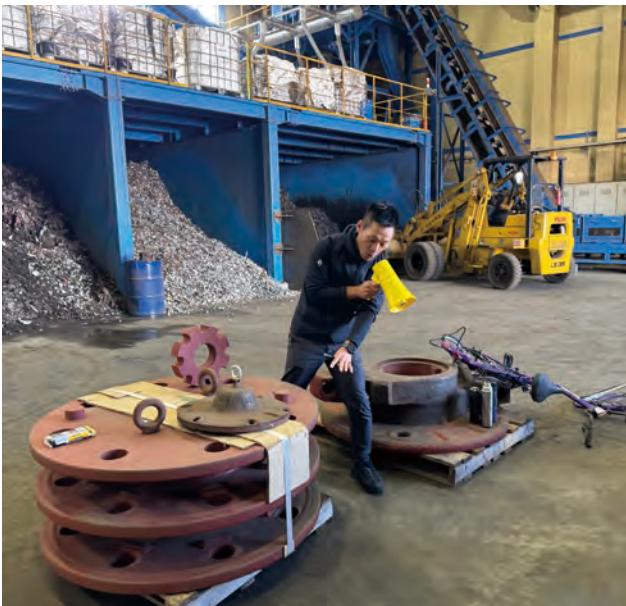
(公財)岡山県環境保全事業団

- ・水島管理事務所で水島事業所の概要説明を受けた後、水島クリーンセンター、みずしま資源再生センター、埋立処分場を視察した。
- ・水島クリーンセンターは、平成11年に供用開始した流動床式の焼却施設で、下水汚泥209t/日と廃プラスチック類等66t/日を約900℃以上で混合焼却する。助燃材にはRDFやRPFの固形燃料を使用し、排熱を利用し1200kWの発電を行っている。焼却残さは「みずしま資源再生センター」で再生処理する。
- ・みずしま資源再生センターは、令和5年に供用開始したロータリーキルン式の焼成施設で、燃え殻144t/日、ばいじん164.6t/日、混合灰153.6t/日を1,000℃以上で再生処理する。焼成品「ハレスナ」は、土木資材、埋立処分場覆土材、防草材等としてリサイクルする。
- ・埋立処分場は、昭和54年に供用開始した海面埋立の管理型最終処分場で、平成25年に約96haの第1処分場が終了し、平成21年から約23haの第2処分場の埋め立てを開始、今後、嵩上げ工事を行い埋立容量約460万m³まで埋め立て可能となる。



株式会社田中商会玉島工場（循環推進部）

- ・搬入される鉄、非鉄スクラップを事前に破碎可能物と破碎不適物とに人の目によって選別し、破碎可能物は破碎機（クボタ環境サービス製KE400型）で破碎・選別し、再生資源として加工し各メーカーに供給している。
- ・破碎により鉄、アルミ、銅、ステンレス、銅線、基盤、プラスチック、ダスト等に分離し、鉄は磁力選別機、アルミと銅は渦電流による非鉄選別機で選別して①鉄、②ステンレス・基盤・銅線・プラスチック、③銅・アルミレーンのベルトコンベアーに排出され、最終的に人間の目と手でより純度の高い製品となる。
- ・ガス切断エリアでは、大型のスクラップを製鋼メーカー向けに出荷可能なサイズまで、資格を持つ社員がガスで切断し選別している。液酸タンクを設置し酸素供給量の安定化を図り厚みのある物の切断を可能とするとともに、ポンベの交換や運搬の手間を省き効率的な切断作業を行うことが可能となる。
- ・視察時に実際の自転車、ステンレスの水筒を破碎・選別機に投入し、選別できる様子を見せてくれた。
- ・「限りある天然資源のリサイクルに挑戦し続ける。」をキャッチコピーに再生事業に取り組んでいる。



視察対応いただいた（公財）岡山県環境保全事業団及び
（株）田中商会の皆様、ありがとうございました。

令和6年度災害廃棄物研修会が 開催される

令和7年1月17日、テクノサポート岡山で災害廃棄物研修会が開催されました。

30年前、阪神・淡路大震災が発生したこの日、各支部から初動対応する会員約40名が参加しました。

【初動対応基礎講座】

「西日本豪雨の失敗談とその解決策」と題して、岡山市環境局環境部環境事業課資源循環推進室 主任の萩原 卓氏に講演いただきました。萩原氏は前職の倉敷市職員の時避難情報発令の重要性を認識し気象予報士の資格を取り、危機管理課に異動後の平成30年に西日本豪雨に直面されました。その後、気象庁に在籍し、現在は気象防災アドバイザーも務める経歴をお持ちです。

本日の講義では、倉敷市危機管理課に在籍中の西日本豪雨災害の体験を通じ、「大規模災害発生時には一人でできることは限られている。仲間、組織で対応することの大切さを痛感した。」と熱く語られました。



【初動対応グループワーク】

「災害廃棄物運搬管理者責任者の実務」と題して、災害廃棄物委員の三好員弘氏の進行でグループワーキングを行いました。参加者は5つのグループに分かれ、進行役から出される難題に挑みました。「集積場所となっている土地に半分程度ある災害廃棄物を市町村の焼却場で処分するので運搬してほしい」という市町村からの要請に応えるもので、与えられる情報は場所と物の比重のみ。各グループは、参加者の知恵と経験、スマホを駆使して集積場所にある災害廃棄物の処理計画を立てる作業を行いました。最初はなかなか先に進みませんでしたが、時間が経つにつれ話し合いも増え、計画を模造紙に書けるようになり、最後は発表し合いました。

実際の災害現場では、市町村から与えられる情報は僅かですが、頼られたからには廃棄物処理のプロとして「これだけの情報では分かりません」、「出来ません」とは言えませんので、このようなシュミレーションを日頃から行っておく事の大切さを改めて感じました。



倉敷市での災害廃棄物仮置場設置訓練に 倉敷支部・倉敷南支部が参加!

災害廃棄物対策中国・四国ブロック協議会の主催で、令和6年11月13日倉敷市真菰谷最終処分場において、倉敷市災害廃棄物処理初動マニュアルに基づく、災害廃棄物処理の円滑かつ迅速な初動対応の役割分担、手順等を確認する実施訓練が行われ、倉敷市をはじめ、環境省中四国地方事務局、災害廃棄物対策中国・四国ブロック協議会、岡山市、総社市、岡山県産業資源循環協会（倉敷支部・倉敷南支部）、倉敷警備業協議会、倉敷市社会福祉協議会、岡山NPOセンターから約100名が参加されました。

訓練は、仮置場設置訓練、重機応援受入訓練、廃棄物受入訓練（その1）、応援受入・引継ぎ・廃棄物受入訓練（その2）、搬出訓練が行われました。

【仮置場設置訓練】

1次2次受付設営、看板設置、人員の所定配置の実施

【重機応援受入訓練】

当協会倉敷支部会員企業が、バックホウによる敷鉄板敷設の実施



【廃棄物受入訓練（その1）】

1次受付で市民確認、2次受付で積載物確認後区画へ誘導、荷下ろし補助、バックホウによる廃棄物の積み込み



【応援受入・引継ぎ、廃棄物受入訓練（その2）】

応援者に配置場所で業務内容説明・引継ぎ

【搬出訓練】

当協会倉敷支部会員企業が分別された廃棄物入りコンテナをアームロール車に搭載し場外に搬出の実施、当協会倉敷南支部会員企業による破砕機のデモ運転の実施



今回の訓練で、倉敷市災害廃棄物処理初動マニュアルの検証を通じて、災害時の初動対応の官民連携による災害廃棄物処理体制の手順確認や広域連携の際に必要な災害廃棄物対策中国・四国ブロック協議会構成団体で協力事項の確認がされました。

岡山西・
岡山中央
支部

岡山西支部・岡山中央支部合同 貝殻山クリーン作戦

- 実施日時 令和6年11月12日(火) 8:00~11:00
- 実施場所 岡山市南区宮浦地内貝殻山線
- 参加者 環境省中四国地方環境事務所資源循環課 2名
備前県民局地域政策部環境課 2名
岡山市環境局環境事業課他 17名
岡山南警察署 3名
甲浦学区町内会(宮浦、鮑浦、弁天、松尾、郡) 28名
岡山西支部会員 35名
岡山中央支部 30名
総数 117名
- 参加車両 8tダンプ、4tダンプ、2tダンプ、軽四 計14台

今回のクリーン作戦も岡山中央支部と岡山西支部との合同で行う事もあって、117名もの多くの方々に参加を頂きました。作業当日の天気は、例年良い天候に恵まれています。今回も快晴で作業には良い日和となりました。

午前8時までに貝殻山山頂の駐車場に集合し、開会挨拶や参加関係者の紹介、作業手順を確認した後に、山頂駐車場から二手に分れて作業を開始しました。

毎年行っているにも関わらず道路沿いや斜面等には、廃タイヤや家電ゴミ、家庭ゴミ等多数の不法投棄物がありました。手際よく収集して頂き、廃棄物が多く発見した場所には、不法投棄防止を呼び掛ける立て看板を設置しました。

10時を目安に分別場所となる貝殻山山頂へ再度集合した際は、沢山の回収物を積んだ車両が次々と集まり、仕訳場所は見る見るゴミの山となりました。岡山市職員の方々より分別の指示を頂き不法投棄物の分別作業もスムーズに進み、事故やケガ人も無く終了予定時刻の11時には全ての作業を無事に終える事が出来ました。

約3時間の作業でしたが今回のクリーン作戦においては、約10t~15tもの廃棄物を回収する事が出来ました。

ご参加頂きました皆様、ご協力ありがとうございました。



倉敷
支部

第28回（令和6年度） 倉敷地域環境クリーン作戦

- 実施日 令和6年10月23日（水）9：00～11：00
- 場所 倉敷市粒江地内
- 参加者 会員48名
倉敷市環境衛生協議会 粒江支部支部長 中村氏
倉敷市環境リサイクル局リサイクル推進部
産業廃棄物対策課 行武課長、斎藤氏
- 使用車両 4台
- 廃棄物撤去量 1.5トン
- 撤去品目 スレート、コンクリート廃材、石膏くず、タイヤ、
木くず、空き缶、空き瓶、ペットボトル等
- 板設置 3本



昨年まで、倉敷支部ではこれまでの不法投棄防止に係る啓発活動が功を奏したのか、クリーン作戦の実施場所の選定に苦勞するほどになっていました。しかし、今回は昨年実施した場所を再度実施することになり、これまで以上の量の不法投棄の廃棄物を撤去しました。

今回のクリーン作戦の実施場所の選定に関しては、井上支部長が昨年クリーン作戦を実施した場所のパトロールの際に新たな不法投棄を発見し、倉敷市産業廃棄物対策課と協議を重ね、昨年と同じ場所でのクリーン作戦の実施となりました。

作業当日は雨も予想されましたが、どうにか曇天での開催となりました。例年通り、早朝より倉敷支部の役員をはじめ、支部の皆さんに多数集合いただきました。

井上支部長、倉敷市行武課長の挨拶後に、本日の作業の説明、ケガや事故のないようしっかりと注意事項等を確認後、回収作業を開始しました。

当初は、不法投棄されている廃棄物量は少ないと予想していましたが、いざ始めると落ち葉の下から、昨年のごみとは異なる新たなコンクリートくずやスレート等がどんどん出てきました。3班に分かれ、支部の皆さんは崖下まで降りて様々な廃棄物を回収しました。中にはコンクリート廃材、石膏のくず等、産業廃棄物に該当するものも多数確認されました。また、見たことのない1980年代のキリン、アサヒの350ml缶も出てきました。

約2時間で作業範囲の廃棄物はほぼ回収することができ、最後に倉敷市環境衛生協議会中村氏より会員へ向けお礼の言葉をいただきました。

例年のことですが、倉敷支部の企業の皆さまには積極的にクリーン作戦に参加いただき感謝します。引き続き、不法投棄一掃に向けて、倉敷支部の皆さんと力を合わせて啓発活動が続けていきたいと思います。ご協力いただきました皆さまにあらためてお礼を申し上げます。



倉敷南

支部

令和6年度 環境クリーン作戦

- 実施日 令和6年11月30日(土)
- 実施場所 旧鷺羽山スカイライン
- 回収量 可燃ごみ190kg 不燃ごみ230kg

2024年11月30日(土) 8時より開会式の後、約2時間作業を行いました。

参加者は、協会会員及び家族、倉敷市の産業廃棄物対策課の課長、総勢39名で3班に分かれ8箇所を行いました。急な斜面も多く回収作業にはくれぐれも事故が無いように気を付け行いました。3年連続で同じ場所で行っているため、下調べの時は、あまりゴミが見当たりませんでした。しかし、当日になってみると想定外に多く、2tダンプ2車の量を回収しました。缶・ビン・燃えるゴミが多いなか、洗濯機1台、車のバンパーなどどう見ても産業廃棄物と言った物も回収しました。

少しでもゴミを捨てているのを見ると違う人も捨てる。そういう話も聞きました。少しでも不法投棄がなくなるよう願いを託し、古くなっている不法投棄の看板を取り、新しい看板に交換をしました。

最後になりましたが、参加してくださった皆様、本当にありがとうございました。



井笠
支部

井笠支部クリーン作戦

- 実施日 令和6年10月31日(木) 8:30~12:00
- 実施場所 笠岡市吉浜地内
- 参加者 31名(支部会員24名、笠岡市役所5名、県民局2名)
- 回収量 5トン(廃プラ、空き缶、ソファ、タイヤなど)

井笠クリーン作戦は令和6年10月31日(木)に晴天のもと行われました。

今回は法面部分の不法投棄撤去と長年不法に埋められていた場所からの撤去の2カ所での作業となりました。法面部分の撤去は小規模でスムーズに進みましたが、埋められていた場所は重機で掘り起こし、手作業で分別し、近くまで運搬車両が入れない場所であったので小運搬車両でのピストン輸送となりました。用意していた殻袋400袋も使い切るほどの量を手作業にも関わらず、段取りよく作業を行ってくれた会員に感謝申し上げます。

年一回軽トラ1杯分を笠岡市と地元自治会の方が行っていた場所であり、10年分が一度に終わったと喜んで頂きました。今後もこの活動を続けて行きたいと思います。



備北

支部

新見地域環境クリーン作戦

今年の不法投棄ごみ一斉清掃は10月17日（木）に行われました。

この活動は、新見市環境衛生協議会の呼びかけで、毎年実施している活動に、岡山県産業資源循環協会備北支部として参加協力しているものです。

主催よりご要望を頂き、出発式では皆様の前で挨拶する機会を頂き、環境活動への想いも含めお話させて頂きました。

その後、2班に分かれて、2ヵ所で活動。参加者は、火ばさみとゴミ袋を手に川岸を歩き、国道180号線から投げ捨てられたと見られるごみを拾い集めました。

実施エリアは、新見市草間地内、高梁川沿いにある絹掛の滝周辺。

備中県民局新見地域事務所、新見市、新見市環境衛生協議会なども含む約40名が集まり、備北支部からは12名が参加して、ビニール袋やペットボトル、空き缶、空き瓶など約270kgを回収しました。

近年の豪雨等により、木々に引っかかったり土砂に紛れたりしているものが多くあり、タイヤなど大きいものもありましたが、別団体とも役割分担をしながら、事故もなく無事終了しました。

昨年に引き続き今年も参加者が多く、皆さんの手際のよい作業のため道路沿いはきれいになりました。この新見市環境衛生協議会主催の活動は来年も行われるので、引き続き参加協力したいと思います。



津山

支部

第28回 津山支部環境クリーン作戦

1. 実施日時 2024年10月28日(月)9:00~11:00
2. 実施場所 勝央町畑尾地区内
3. 参加人数 28名(会員23名、美作県民局3名、勝央町2名)
4. 回収量 計500kg(可燃物、不燃物、粗大ゴミ、古タイヤ、スクラップ、廃家電等)

今年度の津山支部環境クリーン作戦(以下、クリーン作戦)は勝央町畑尾地区内で行いました。今回の対象箇所は、山林の旧道付近で、現在は使用されなくなっている場所です。その場所の地権者より不法投棄のゴミを何とかしてほしいと勝央町へ要望があり、クリーン作戦で協力することとなりました。

今回のクリーン作戦は、ゴミの投棄場所が山林の傾斜地にあり、作業は難航しました。また、その旧道は草木が生い茂り道幅も狭く倒木もあり、加えて前日の雨で地面もぬかるみ、ゴミ自体は多くないものの作業環境としてはかなり厳しい状況でした。そのような中ではありましたが、全員で一生懸命ゴミ回収を行いました。特に、作業場所が傾斜地であったため、傾斜下でゴミを集める人、集めたゴミを傾斜上の旧道まで運ぶ人、旧道からゴミ運搬車まで運ぶ人という具合に役割を分担して効率的かつ安全に作業を進めることができました。



一方、事務局としては情けない話ですが、事務局要因のトラブルがありました。事前に実施個所の確認はしていたのですが、予想以上に旧道の道幅が狭く、予定していた小型のユニック車を入れることができず、家電などの大型のゴミを人力でトラックまで運ばなければならないことになりました。また、地権者も知らなかったことではありますが、作業場付近に猪の罠が仕掛けてあり、危うく作業員がその罠にかかりそうになるという危険なこともありました。もう少し事前の確認をしっかりとしておくべきだったと反省しております。



他にも小さなことは各種ありましたが、参加者皆様のご協力で何とか無事にクリーン作戦を完了することができました。ゴミの量は約500kgと近年と比較すると少なかったですが、可燃物、不燃物、粗大ゴミ、古タイヤ、スクラップ、廃家電等色々な物が捨てられていました。作業は大変でしたが今回の活動ではほぼ全て回収でき、綺麗にすることができました。回収したゴミは、津山市や会員各社からご協力頂いた車両に載せて運び出し、11時前に作業は終了しました。

終わってみて毎回思うことではありますが、一時的に綺麗になってもまた数年後にはゴミが溜まってしまわないだろうか、と不安になるのが少し悲しい所です。そうならないようにと終わりに山田支部長が全員の思いを代表して不法投棄をしないことを告知した看板を打ち立てました。

最後に、不法投棄をすれば、一時的にはゴミが手元から離れますが、結果的に山中や海などの自然を汚染し、私たちに悪影響として跳ね返ってきます。今後不法投棄がなくなり、すべてのゴミが適切な方法で処理されることを強く願います。



青年部会勉強会を開催する。

青年部会では2024年12月20日(金)にピュアリティまきびにて勉強会を開催しました。

「缶詰から始まる物語」という題目で、一般社団法人コノヒトカン 代表理事 三好千尋氏に講演していただきました。

活動のきっかけはコロナ禍で困っている飲食店を助きたい思いから始まり、フードロス問題、貧困問題、また心の貧困などもっと助け合い岡山を元気にする方法はないか？その中で世界一あったかい缶詰「コノヒトカン」が誕生しました。

まず一番刺激を受けたのが三好氏の決断力と行動力です。思い立ったら即行動に移し、今を大切に、地域や社会の問題を解決していく姿勢は、この産業資源循環業界、会社経営でも見習うべきことだと感銘を受けました。

子供たちに夢や希望をあたえ、その思いがバトンされ“誰でも気にかけてあえる心豊かな社会”になっていくことを目指していました。

青年部会でも何かできることはないかと考え、環境学習などいろいろな活動を通じて、地域・社会から必要とされる、子供たちにこの業界で働きたいと思ってもらえる、魅力あふれる業界を築こうと青年部一同、気持ちを新たに団結しました。

2024年の締めくくりの活動として、大変有意義な勉強会になり、部会員のスキルアップ、部会員同士の絆を更に深めることができました。今後とも夢や希望があたえられる青年部会であり続けます。



災害廃棄物委員会 災害廃棄物連絡会議の開催

岡山県に調整をお願いし、3県民局単位で県・市町村・協会による災害廃棄物連絡会議を開催しました。市町村の災害廃棄物仮置場候補地を見学し、仮置場管理運営上の問題点等についてグループワークで話しました。協会からは災害廃棄物委員と連絡窓口員が出席しました。

備前県民局連絡会議：令和6年8月21日（玉野市）岡山東、岡山西、岡山中央、東備支部

備中県民局連絡会議：令和6年8月29日（浅口市）倉敷、倉敷南、井笠、備北支部

美作県民局連絡会議：令和6年11月18日（津山市）津山支部



災害廃棄物仮置場計画検討会議への参加

岡山県が主催する災害廃棄物仮置場計画検討会議が備前県民局と備中県民局で開催され、協会の災害廃棄物委員及び地元支部連絡窓口員が出席し、連絡会議で下見した仮置場の管理運営上の問題点と課題を整理し具体的な仮置場計画の策定に参加しました。

備前県民局検討会議：令和6年10月10日（玉野市仮置場計画）

備中県民局検討会議：令和6年10月3日（浅口市仮置場計画）



労働安全衛生委員会報告 全国産業安全衛生大会2024in広島の概要

山陽美業株式会社 室山晃一
筆者 株式会社石原工務店 石原大蔵

令和6年11月13日～15日に広島県立総合体育館にて行われた全国産業安全衛生大会に参加してきました。

様々な分科会が催されておりましたが、その中でも14日に広島文化学園、HBGホールで行われた、「広島労働局の転倒災害防止の取り組みについて」と「あぶないっ！！靴・床面・動線から転倒リスクをズバリ物申す！」を聴講してきました。

前者については転倒災害防止の為の体作りの話がとても興味深く、中でもJFEスチール(株)西日本製鉄所が導入しているアクティブ体操の実演では作業前に体を動かすことの重要性を再確認させられるものでした。また、私もJFE構内作業を行う為、毎年体力テストを受けていますが、事故を未然に防ぐための有効な手段として必要な事だなと実感しました。

後者については岡山を代表する日進ゴム(株)と(株)丸五の2社が岡山労働局と共同で県内のスーパーマーケットのバックヤードを安全診断した結果を報告されました。靴の選定から、清掃、管理の必要性について学びました。また、安全通路の確保の重要性が分かっているにもかかわらず、作業性を優先させてしまう現場側の苦悩等を再確認することが出来ました。分かっているが実行に移せないもどかしさというものは全ての業界に通じるものではないかと思います。

同時に行われております緑十字展にも参加しました。今回、注目したのは4点です。

1つ目は、熱中症対策に有効かも？というヘルメットについてです。DICプラスチック(株)の「ヒートバリア」です。通常のヘルメットに比べて-12℃ヘルメット内部の温度が異なります。成形材料に遮熱顔料を練りこむという新しい取り組みによって効果を実現したそうです。2024年4月末から9月1日までで8万5千人の方が熱中症で搬送されています。その減少に一役買ってくれるのではないのでしょうか。





2つ目は(株)丸五の「俺のゴムロープ」です。トラックの幌紐や荷物の固定、現場のシート押えに適しているようです。通常のゴムより強度があり、3連のゴムを3分割して使用することも出来て便利です。ネットの口コミで評判が良いらしく、エチレンプロピレンジエンゴム (EPDM) を使用している為、水や直射日光に強く、屋外で使用する場合に適しているそうです。トラックシートの幌紐に適してるといえます。また、同じ岡山県内の企業ということで親近感を持ちました。

3つ目は(株)CuboRexの電動一輪車です。建設業労働災害防止協会の安全展示会にて同じ物を紹介していました。良さが一番出るのはダンプなどへの積み込み時にスロープを登るときです。電動で引っ張られることにより安定性も増し、安全に積み込むことが出来ます。体力が落ちた高齢者でも容易に積み込みができる印象です。マキタやハイコーキといったメーカーも販売しており、バッテリーを併用して使用できる点等がメリットとして挙げられます。一度試しに使ってみないと良さが実感できない商品になりますが、機会があれば是非体感してみてください。



4つ目は(株)理研オプテックのM40-ME (ゴグル) です。我々の業界より化学物質を扱うメーカーが必要とされるようなゴグルですが、視界がクリアでレンズが入っているように感じませんでした。一般的なレンズと異なり低反射で特殊な「モスアイ構造」の為、視界がクリアなようです。現段階ではまだ販売未定となっています。また、度付きの保護メガネも取り扱っており、眼鏡との二重使いは煩わしいという方向けの商品も取り扱っています。

また、ブースの中には自社の商品の説明会を行う企業もあれば、新しい法改正の内容についてレクチャーしているブースもありました。今回の多くは法改正のあった保護具の選定についてで、化学防護手袋の数値で見る具体的な選定方法などをレクチャーして頂きました。保護具着用責任者の方が多く聞いておられたとのことでした。

今年度は安全靴の対滑性能を売りにしている物を多く見ました。体感できるコーナー等もあり、安全靴の重要性をさらに感じられました。対滑だけでなく、フィットすることで作業者の負担を減らすような説明もされていました。来年は大阪で行われる予定となっています。是非参加して頂きたいと思います。

株式会社 新岡山工業



- 会社名：株式会社新岡山工業
- 代表者：代表取締役 田口孝利
- 所在地：【本社・美咲営業所】
〒708-1523 岡山県久米郡美咲町吉ヶ原字稲干1048番地2
TEL/0868-62-2775 FAX/0868-62-2776
【岡山営業】
〒702-8053 岡山県岡山市南区築港栄町10番7
TEL/086-264-6703 FAX/086-264-6003
- ホームページ：<http://shin-oka.co.jp>
- 営業品目：産業廃棄物収集運搬業
特別管理産業廃棄物収集運搬業
一般区域貨物自動車運送業
各種タンククリーニング作業
再製油回収、リサイクル業



株式会社新岡山工業は本社のある岡山県をはじめとする西日本エリアにて、産業廃棄物の収集運搬業務を実施しております。各自治体の許可を取得し、お客様の幅広いニーズに対応しております。

また、多種多様な車両があり各事業所様から使用済みの廃油を回収し、再生燃料として活用するリサイクル事業、化学プラント内のタンクやピット、分離槽の吸取り作業を行い、設備維持等の一助としてお客様のご希望に沿って洗浄作業を致しております。

新入会員のご紹介

【倉敷南支部】

株式会社シンジョウ

代表取締役 北宅 嘉巳

〒711-0931 倉敷市児島赤崎1丁目9-20
TEL.086-476-0930 FAX.086-476-1930
令和6年12月4日入会

岡山中央支部・岡山西支部合同親睦ゴルフコンペの結果報告

令和6年11月27日(水)冬の始まりを感じる季節となったこの日、岡山中央支部・岡山西支部合同親睦ゴルフコンペが後楽ゴルフ倶楽部にて開催されました。当日は、天候にも恵まれ17名が参加され和気あいあいとプレーを楽しみました。

後楽ゴルフといえば速くて難しいグリーン。このグリーンを制する者が親睦ゴルフコンペを制する、ということで優勝は岡山中央支部の秋山淳子さん。スコアは、グロス78・ハンディ7.2・ネット70.8と素晴らしい成績でした。

準優勝は隠しホールを制しダブルペリア上限なしの助けもあり岡山中央支部の何と私、藏本。スコアはグロス119・ハンディ46.8・ネット72.2と何とも言えない成績。三位は岡山中央支部の光森敏文さん。グロス91の好スコアでした。

今年も、親睦ゴルフコンペを開催したいと考えており、その際は他支部の方々へもお声掛けをさせていただきたいと思っております。

皆様のご参加をお待ちしています。

岡山中央支部長 藏本 悟





昨年度に引き続き廃材アートコンテストを実施しました。

岡山県内の小学生80名から応募があり、優秀な作品20点を表彰しました。

「限りある資源を子供たちにつなぐ」をテーマに協会事業に取り組んでいますが、廃材アートコンテストの事業も今後「つなげて」いきたいと思ひます。

編集後記

新しい一年が始まりました。

年末年始もそれぞれのペースで生活を送る人達を見ていると、歳を重ねることの意味を考えさせられます。

春夏秋冬など区切りもありますが、代り映えはしないようですけど、その一日はかけがえない貴重な日々。

昨日と同じ今日を過ごす、今日と同じ明日が来る日々。

ありふれた大切な一日一日。

日々の生活のありがたさを噛みしめる一年でもありました。

また改めて、生活の営みの大切さを感じる日々でもありました。

本年もなにとぞよろしくお願ひいたします。

(by 033)

会報・クリーン岡山第70号

令和7年1月31日発行

発行 一般社団法人岡山県産業資源循環協会

〒701-1152岡山市北区津高628-6

TEL086-254-9383 FAX086-254-8766

編集 総務広報委員会

印刷 萌友出版

エコシステム山陽株式会社

代表取締役 山田耕司

〒七〇八一―一五二三

久米郡美咲町吉ヶ原一―二五

電話 〇八六八―六二―一三四六

FAX 〇八六八―六二―一三四五

株式会社アースクリエイト

代表取締役 三好員弘

〒七一四―一二一五

小田郡矢掛町中一七〇

電話 〇八六六―八二―三〇三一

FAX 〇八六六―八二―三四〇〇

牛窓港湾運輸株式会社

代表取締役 田中大一

〒七〇一―四三〇一

瀬戸内市牛窓町長浜四九五九―二

電話 〇八六九―三四―四九七八

FAX 〇八六九―三四―四一五五

株式会社西日本アチユーマツトクリン

代表取締役社長 藏本悟

〒七〇三―八二四五

岡山市中区藤原五〇―一

電話 〇八六―二七二―八〇四二

FAX 〇八六―二七一―一〇五〇

謹賀新年



株式会社 日本資源開発社

代表取締役 林 大悟

〒七〇九―〇六〇七

岡山市東区浦間一―〇二

電話 〇八六―二九七―二二二八

FAX 〇八六―二九七―二三一四

タマタイ産業株式会社

代表取締役 大塚雅司

〒七〇〇―〇九三五

岡山市北区神田町二―一―二五

電話 〇八六―二二四―三二九一

FAX 〇八六―二二三―六三五四

倉敷企業株式会社

代表取締役 井上正士

〒七一〇―〇八四二

倉敷市吉岡二九三―一

電話 〇八六―四二四―六四二九

FAX 〇八六―四二一―九一九〇

新岡山陸運株式会社

代表取締役 木下聖士

〒七〇二―一八〇五

岡山市中区江崎七四六―三

電話 〇八六―二七六―一一一一

FAX 〇八六―二七六―二二六六

有限会社 片岡久工務店

代表取締役 片岡重治

〒七〇二一八〇三三

岡山市南区福富東二一七―一三一

電話 〇八六―二六三―二〇一〇

FAX 〇八六―二六三―二四六八

栄光テクノ株式会社

代表取締役 堀川英治

〒七〇〇一〇九四三

岡山市南区新福二一七―二〇〇

電話 〇八六―二六五―一二三四

FAX 〇八六―二六五―七七二二

株式会社 西日本マックス

代表取締役 宮ノ下臣夫

〒七〇二一八〇一一

岡山市南区郡三〇〇番地

電話 〇八六―二六七―九九五五

FAX 〇八六―二六七―九九七七

株式会社 岡清組

代表取締役 藤井武士

〒七〇〇一〇八六六

岡山市北区岡南町二一五―七

電話 〇八六―二三三―七二三〇

FAX 〇八六―二二六―〇一一三



藤クリーン株式会社

代表取締役 松田一寿

〒七〇二一八〇二六

岡山市南区浦安本町一三三―二

電話 〇八六―二六四―八七七五

FAX 〇八六―二六四―八七九七

株式会社 野崎運輸機工

代表取締役 野崎剛正

〒七〇四一八一九四

岡山市東区金岡東町二一四―三三

電話 〇八六―九四二―三三八一

FAX 〇八六―九四三―七九二七

有限会社 井上設備

代表取締役 井上實

〒七〇二一八〇二四

岡山市南区浦安南町五八四―三

電話 〇八六―二六三―八七四五

FAX 〇八六―二六三―八四六四

岡山砒油株式会社

代表取締役 細羽剛史

〒七〇二一八〇四五

岡山市南区海岸通二一六―一三

電話 〇八六―二六四―六八六六

FAX 〇八六―二六四―六八六七

有限会社 吉美

代表取締役 石原 惠一

〒七〇一—〇一六五
岡山市北区大内田一三六七—一
電話 ○八六—二九三—一〇五二
FAX ○八六—二九二—二〇二〇

小野建設株式会社

代表取締役 小野 勝己

〒七〇一—一二〇五
岡山市北区佐山一三六四—三
電話 ○八六—二八四—七一六一
FAX ○八六—二八四—六八五四

安田産業株式会社

代表取締役社長 安田 猛

〒七〇二—八〇三六
岡山市南区三浜町一—一—一八
電話 ○八六—二六三—三〇六一
FAX ○八六—二六三—三〇二九

株式会社 ケイ・エヌ・ビー

代表取締役 三村 廣彦

〒七〇一—〇〇四七
倉敷市大島五六〇—一二
電話 ○八六—四二四—三七三七
FAX ○八六—四二二—三三六〇一



中野開発株式会社

代表取締役 中野 貞治

〒七〇一—二二四二
岡山市北区玉柏七五
電話 ○八六—二二九—二三一六
FAX ○八六—二二九—三一七五

キョクトウ有限会社

〒七〇九—〇八六一

岡山市東区瀬戸町瀬戸六四六
電話 ○八六—九五二—〇三八四
FAX ○八六—九五二—一九七七

有限会社 和気環境サービス

代表取締役 松本 公子

〒七〇九—〇四二一
和気郡和気町日室一三九
電話 ○八六九—九三—〇四七三
FAX ○八六九—九三—一五五六

妹尾産業有限会社

代表取締役 畑 貞夫
代表取締役 畑 英男

〒七〇一—〇二〇六
岡山市南区箕島一三〇六—二六
電話 ○八六—二八二—〇五二一
FAX ○八六—二八二—〇六四七

株式会社 美建ビルサービス

代表取締役 小林建雄

〒七二〇〇〇一六
倉敷市中庄二二四八―四
電話 〇八六―四六三―一三五一
FAX 〇八六―四六三―一七七九

J&T環境株式会社 倉敷営業所

所長 阪井英明

〒七二二―八〇〇六
倉敷市連島町鶴新田二一七七―一
電話 〇八六―四四七―〇〇八一
FAX 〇八六―四四七―〇〇八二

株式会社 フルカワ商事

代表取締役 古川悦生

〒七二二―八〇一一
倉敷市連島町連島一〇六一―
電話 〇八六―四五四―五二二八
FAX 〇八六―四五四―七三三五

株式会社 田中商会

代表取締役 田中剛

〒七二〇〇〇八〇三
倉敷市中島一三九五
電話 〇八六―四六五―三〇五〇
FAX 〇八六―四六五―三〇五一



協同組合 倉敷市環境保全協会

代表理事 岡井智之

〒七二〇〇〇三三八
倉敷市新田二三二二―八
電話 〇八六―四二二―七三七一
FAX 〇八六―四二一―五四二七

有限会社 ナカイチ

代表取締役 中山一将

〒七二二―八〇一一
倉敷市連島町連島一四二―一三七
電話 〇八六―四四八―六二四二
FAX 〇八六―四四八―〇九三九

株式会社 ビーシー工業

代表取締役 富本泰司

〒七二二―八〇五一
倉敷市中畝九―一二―三七
電話 〇八六―四五六―三四二一
FAX 〇八六―四五六―五八四三

山陽美業株式会社

代表取締役 室山晃一

〒七二〇〇〇六一
倉敷市浜ノ茶屋一五五―四
電話 〇八六―四三四―三五〇〇
FAX 〇八六―四四一―九二一三

坂川建設鋳業株式会社

代表取締役 坂川 晃一

〒七二四―一四〇五
井原市美星町字戸一〇五五
電話 〇八六六―八七―二六二六
FAX 〇八六六―八七―二六二七

山本舗材株式会社

代表取締役 山本 堅司

〒七二一―〇九〇六
倉敷市児島下の町三一―四―四六
電話 〇八六―四七三―一七三
FAX 〇八六―四七三―一八三

株式会社 高谷建設

代表取締役 高谷 耕治

〒七二一―〇九三六
倉敷市児島柳田町二三二六―四
電話 〇八六―四七三―三六二四
FAX 〇八六―四七二―六二七三

有限会社 おがわ商店

代表取締役 小川 卓史

〒七二四―〇〇八一
笠岡市笠岡一五〇七
電話 〇八六五―六三―二〇九四
FAX 〇八六五―六三―二〇九九



株式会社 日住

代表取締役 高橋 克実

〒七一九―〇二五四
浅口市鴨方町六条院東五〇九
電話 〇八六五―四四―七八八八
FAX 〇八六五―四四―六五一三

山陽興産株式会社

代表取締役 大本 修身

〒七二六―〇〇四五
高梁市中原町一五四二―一六
電話 〇八六六―二二―一〇三五
FAX 〇八六六―二三―一三二六

山陽環境開発株式会社

取締役会長 岩元 博
代表取締役社長 岩元 達也

〒七二八―〇〇〇三
新見市高尾二三〇四―一
電話 〇五〇―五五三〇―一九九〇
FAX 〇八六七―七二―一七八〇

株式会社 平松運輸

代表取締役 平松 敬史

〒七二六―〇二〇七
高梁市川上町仁賀六二七
電話 〇八六六―四八―三五八八
FAX 〇八六六―四八―三二六一

エコシステムジャパン株式会社

代表取締役 辻本健二

〒一〇一—〇〇二一
東京都千代田区外神田四丁目一四—一
電話 〇三—六八四七—七〇一〇
FAX 〇三—六八四七—七〇一五

株式会社新岡山工業

代表取締役 田口孝利

〒七〇八—一五二三
久米郡美咲町吉ヶ原字稻千一〇四八—二
電話 〇八六八—六二—二七七五
FAX 〇八六八—六二—二七七六

株式会社三美産業

代表取締役 妹尾芳訓

〒七一六—〇二〇三
高梁市川上町三沢四三四二—二
電話 〇八六六—四八—二八七八
FAX 〇八六六—四八—二八七九

株式会社廃棄物センター

代表取締役 河原 淳

〒七〇八—〇〇一三
津山市二宮八七〇
電話 〇八六八—二八—二〇五一
FAX 〇八六八—二八—二一四八

今年もよろしく
お願い申し上げます

坂田碎石工業株式会社

代表取締役 近堂申洋

〒七〇九—三六三二
久米郡久米南町山手六四五
電話 〇八六—七二八—二八一—
FAX 〇八六—七二八—二四六〇

株式会社佐藤碎石

代表取締役 佐藤宣義

〒七〇九—四三一六
勝田郡勝央町勝間田二二五—五
電話 〇八六八—三八—四一六八
FAX 〇八六八—三八—四一六九

竹藤建設株式会社

代表取締役 竹藤健太郎

〒七一九—三三〇一
真庭市久世二九二〇—一二
電話 〇八六七—四二—一一一〇
FAX 〇八六七—四二—五〇二七

株式会社フクイクリン

代表取締役 上杉有梨

〒七〇七—〇〇二四
美作市榎原下一四五
電話 〇八六八—七二—一一一九
FAX 〇八六八—七三—〇四五五



ZAXIS200-7

Be an Innovator

その手で、革新を操れ！

油圧ショベル

ZAXIS-7型シリーズ

きめ細やかな制御で、
スムーズな操作を実現

尿素SCRシステムと新油圧システムを採用。環境に配慮しながらランニングコストを低減。周囲環境視認装置AERIALANGLEを搭載。より高い安全性能と生産性を両立。

ZW180-7

Beyond Imagination

想像以上を、体感せよ

ホイールローダ

ZW-7型シリーズ

より使いやすく、快適に。
オペレーターへの負担軽減

アプローチスピードコントロールによる作業燃費と積込作業性の向上。人間工学を元に機器の配置を見直し。電気式フロント操作レバーの採用による操作性向上と疲労低減。考え抜かれた機能と高い品質が織りなす優れた快適性。



地球にたねまき

SOW SEEDS ON THE EARTH

株式会社フルカワ商事

〒712-8011 倉敷市連島町連島106-1
TEL 086-454-5228 FAX 086-454-7335
URL <https://furukawas.co.jp/>

中間処理場 水島リサイクルファーム
〒712-8005 倉敷市水島北亀島町1903-2
TEL 086-448-1200 FAX 086-448-1204